

1年次	2年次
-----	-----

グローバルコミュニケーション基礎論（アカデミックライティング）	グローバルコミュニケーション基礎論（研究法・調査法）	<b>日本語教育分野</b> 日本語教育研究(意味論・語用論)      日本語教育研究(日本語教育実践研究) 日本語教育研究(日本語教授法)      日本語教育研究(日本語習得研究) 日本語教育研究(分野別日本語教育論)      日本語教育研究(日本語文法研究) 日本語教育実習
		<b>TESOL分野</b> Curriculum and Materials Design I      Practicum Curriculum and Materials Design II      Portfolio Compilation and Presentation Foundations of English Language Teaching English Language Structure Analysis
		<b>専門共通</b> グローバルコミュニケーション研究（言語学）      グローバルコミュニケーション研究(日中対照言語学) グローバルコミュニケーション研究（第二言語習得論）      グローバルコミュニケーション研究(日本文化概説) グローバルコミュニケーション研究（異文化間コミュニケーション論） グローバルコミュニケーション特別講義A      グローバルコミュニケーション特別講義B
		<b>演習（全分野共通）</b> グローバルコミュニケーション演習Ⅰ      グローバルコミュニケーション演習Ⅲ グローバルコミュニケーション演習Ⅱ      グローバルコミュニケーション演習Ⅳ
		<b>分野共通科目</b> 文献講読 日本語プレゼンテーション技法 日本語ライティング技法
		<b>翻訳通訳分野</b> 翻訳の理論と方法 A      翻訳の理論と方法 B 日英翻訳（時事・実務） A      日英翻訳（時事・実務） B 日英翻訳（文芸・評論） A      日英翻訳（文芸・評論） B 日中翻訳（時事・実務） A      日中翻訳（時事・実務） B 日中翻訳（文芸・評論） A      日中翻訳（文芸・評論） B 日韓翻訳（時事・実務） A      日韓翻訳（時事・実務） B 日韓翻訳（文芸・評論） A      日韓翻訳（文芸・評論） B  通訳の理論と方法 A      通訳の理論と方法 B 日中通訳(観光・コミュニティ) A      日中通訳(観光・コミュニティ) B 日中通訳(会議・ビジネス) A      日中通訳(会議・ビジネス) B 日中同時通訳 日英通訳 通訳実習

修士論文 または 研究課題報告書

DP1  
日本語教育、翻訳通訳、TESOLのいずれかの分野において、体系的知識を習得し、活用することができる。

DP2  
言語、言語教育、翻訳・通訳に関する研究方法を理解し、日本語教育、翻訳通訳、TESOLのいずれかを軸に、国際的かつ学際的視野に基づく研究方法によって、自ら設定した課題について探究することができる。

DP3  
グローバル社会における良き社会のあり方と発展を考察するとともに、国際社会とその動向に目を向け、自文化と他文化に係る深い理解に基づく視点を持って専門的な知を追究することができる。

DP4  
専門とする分野の必要に応じて、修得した高度な語学力を十分に発揮できるとともに、社会の様々な場面において、高度な異文化理解能力とコミュニケーション能力を発揮し、課題解決に貢献することができる。